

# 布橋灌頂会と芦峯寺

【会期】令和5年 **8.22** [火] — **10.1** [日]

江戸時代、女性は五障三従の身などといわれて「墮地獄必至、極楽往生もかないがたし」と説かれ、立山への入山も許されませんでした。立山の麓、芦峯寺集落では、このような女性たちを救う法会として、閻魔堂、布橋、うば堂を舞台に毎年秋の彼岸の中日に「布橋灌頂会」が執り行われていたと伝えられています。

本年9月24日に「布橋灌頂会」が開催されるのにあわせて、貴重な史料から江戸時代の「布橋灌頂会」を紹介します。



「立山曼荼羅」日光坊A本（個人蔵）

富山県 [立山博物館] 展示館 2階常設展示室  
午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）  
観覧料\*一般300円 ※大学生以下、70歳以上無料  
会期中の休館日\*月曜日（9/18は開館）、9/15、9/19

【展示解説会】

9月2日（土）、9月9日（土）、  
9月23日（土・祝）、9月24日（日）  
いずれも14時～15時



富山県[立山博物館]  
TATEYAMA MUSEUM of TOYAMA

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺 93-1/TEL076-481-1216（代表）  
共催：布橋灌頂会実行委員会